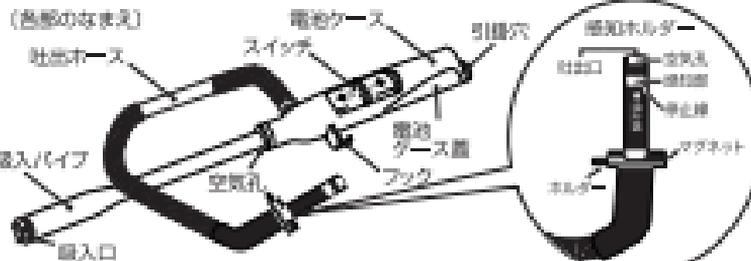


灯油ポンプ MG-CT20

取扱説明書 要保存

この説明書は、灯油ポンプMG-CT20をお使いの上でのために、且この説明書をお読みください。
ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでもお読みになる場所に大切に保管してください。

PAT.



- 警告**
 - 強力なマグネット(磁石)を使用しています。
 - ペースメーカーなど医療機器を植え込むなど、治療されている方はこのポンプのご使用をお控えください。
- 注意**
 - 電子医療機器の近くでのご使用、保管は機器に影響を与える恐れがあります。
 - 磁気記録媒体(フロッピーディスク、MO、磁気テープ、磁気カード、プリペイドカード、切替、MDなど)に近付けると記録が破壊されるまたは磁化されて使用できなくなる場合があります。
 - 各種電子機器、映像機器、通信機器(CD/DVDプレーヤー、時計、携帯電話など)に近づけないでください。正常動作が妨げられたり、故障の原因になることがあります。

必ずお守りください

1. 給油について

- 給油は必ず火の気のない場所で行い、給油中は絶対にポンプの側を離れないでください。
- 給油中に吐出ホースなどに触れたり、衝撃を与えるとカートリッジタンクなどから感知ホルダーが外れる恐れがあります。
- 室内など、汚れては困る場所では使用しないでください。屋外など、灯油がこぼれてもよい場所でご使用ください。 ※誤作動により再始動したり、カートリッジタンクなどから感知ホルダーが外れた場合、灯油がこぼれ、タタミや床面、カーペット、車内などを汚す恐れがあります。
- 給油終了後は、必ずスイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを取り出して灯油をよくきり、ポンプ収納ケースまたは、吊り下げするなどして保管してください。
- ※ポンプ収納ケースで保管される場合は、感知ホルダーをポンプのフックに掛けてください。
- ※給油終了後は、絶対にポンプを灯油缶に差し込んだままにしないでください。
- ※誤作動により再始動する恐れがあります。
- このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからない場所でご使用(給油)及び保管をしてください。
- ※誤作動により再始動したり自動停止しないなど、故障の原因となります。

2. 乾電池について

- 使用推奨期間を確認いただき、使用推奨期間が十分ある新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
- マンガン乾電池をご使用にならないでください。
- 二次電池(充電式電池)はご使用にならないでください。
- 乾電池は気温の低い場所ではパワーが低下し、使用できなくなる場合があります。
- 低温(5℃未満)の状態ではポンプに乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を十分に発揮できず動かぬ場合があります。
- ※乾電池の保管は10℃～25℃が適切とされています。直射日光、高温多湿を避け保管してください。

準備 1 乾電池の入れ方

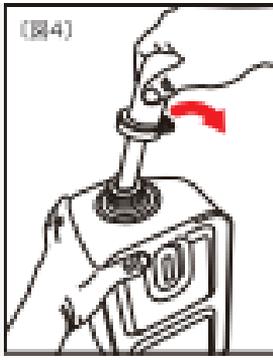


- ①ポンプ部分を強く押しながら電池ケース蓋を手前に引き、取り外してください。
- ②電池ケース蓋の開口に合わせて電池を挿入し、単一乾電池2本を正しく入れてください。
- ③電池ケース蓋のフタを電池ケースにはめ込み、電池ケース蓋をもと蓋がしっかりと閉めてください。

- 乾電池の交換時、その他の細部を強くおめにかかるとお守りください。
- 1. 乾電池は必ず新しいものを使用してください。
- 2. 乾電池を取り替える時は、一度に2本とも取り替えてください。
- 3. 乾電池は2本とも同じ種類のものを使用してください。
- 4. 長期間(2週間以上)使用しない時は、必ず乾電池を取り外してください。

準備 2 操作方法について

- ①吸入パイプを灯油缶に差し込んでください。
- ②感知ホルダーをカートリッジタンクの給油口に差し込んでください。
- ※感知ホルダーがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ③スイッチを「入」方向にスライドさせると給油を開始します。
- ④停止前まで給油すると自動的に停止します。
- ⑤自動停止後は、必ずスイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認し、カートリッジタンクが傾かないよう手で支え、[図4]のように感知部を手前に少し倒し、吐出ホース内の残った灯油がタンク内に流れ込んだことを確認し、しずく後に注意しながらゆっくり引き上げて取り外してください。
- ※途中で給油を停止する場合は、スイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認してください。
- ⑥給油終了後は、必ず灯油缶よりポンプを取り出し保管してください。



- ご使用になる前に以下のことを必ず確認してください。
- 吐出ホースに破損やゆるみがないか確認してください。
- ※使用頻度や保管状態によっては、吐出ホースの破損や変形が発生する場合がありますので異常がある場合は使用しないでください。
- スイッチが「切」位置にあることを確認してください。
- 感知ホルダーを給油口にセットする際スイッチを「入」にするとポンプが作動し灯油があふれます。
- 中継給油をしないでください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や強い熱源のもとで使用しないでください。
- ※自動停止しない場合があります。
- カートリッジタンクの種類によっては給油量が油量計の途中で停止するものや、油量計を越えて停止するものがあります。

ご使用になれないもの



※カートリッジタンクなどの給油口内径22mm以下のもの、灯油缶などの吸入口内径33mm以下のものにはご使用になれません。
※感知ホルダーが固定できないカートリッジタンクなど、機種によってはご使用になれないものがあります。

使用上のお願い

- ①給油は、必ず火の気のない安全な場所で行ってください。
- ②給油中はポンプの側を絶対に離れないでください。
- ※給油があふれた場合、火災や故障の原因となります。
- ③吐出ホース・吸入パイプを強く曲げたり、他のものと強く擦り合わせないでください。
- ※電線や穴があき灯油漏れの原因となります。灯油が漏れた場合は使用しないでください。
- ④ポンプを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- ⑤本体の空気孔を塞がないでください。空気が入らないと自動停止せずあふれる原因となります。
- ※空気孔から少量の灯油が溢れ出る場合がありますが、故障ではありません。
- ⑥センサーが汚れたり、傷がついたり異物が付着した場合、自動停止せずあふれる原因となります。
- ⑦このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからないようにしてください。
- ※誤作動により再始動したり自動停止しないなど、故障の原因となります。
- ※通常の使用にもかわらず自動動かなくなったり異常が起きる場合は、事故防止のため、使用を中止し、乾電池を取り外していただき、下記のご商品に関するお問い合わせ先へまでご連絡ください。
- 自動停止せずあふれた場合、スイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを抜きとってください。
- このポンプは「灯油専用」です。ガソリン・シンナー・アルコールなどの揮発性の高い液体、酸・アルカリなどの腐食性の強い液体、水は絶対に使用しないでください。
- ※火災や故障の原因となります。
- ポンプの分解や改造は絶対にしないでください。※故障や異常動作を起こす原因となります。
- お子様だけの給油は絶対にごさせないでください。
- 古い灯油は使用しないでください。

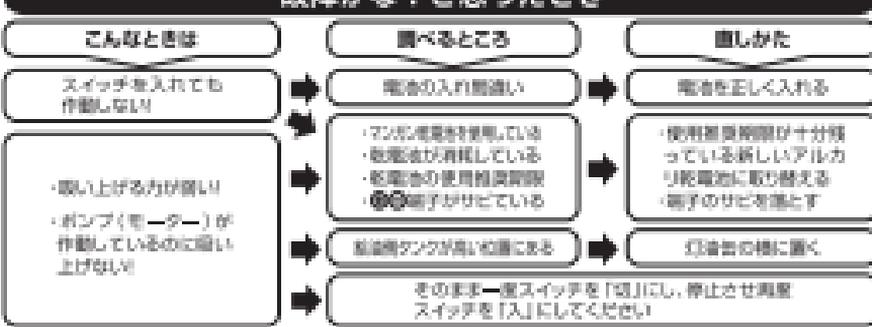
保管のしかた

- 毎日使用される場合でも、必ず灯油缶からポンプを取り出し灯油をよくきり、雨や雪、夜露など水に濡れる恐れのあるところ、直射日光の当たる場所を避けて保管してください。
- ※防水構造ではありませんので誤作動を起こすなど、故障の原因となります。
- ※ポンプが劣化し、吐出ホースが割れたり穴があく原因となります。
- ポンプは、上下逆さま(電池ケース部分を下向き)にしないでください。
- ポンプ内に残った灯油が漏れる恐れがあります。
- ポンプの保管はポンプ収納ケースまたは吊り下げなどして保管してください。
- ※弊社社売りのポンプ収納ケースをおすすめします。

【長期間使用しないとき】

- 長期間(2週間以上)ご使用にならないときは、必ず乾電池を取り外し、ポンプに残った灯油をよくきり、乾いた布でぬぐい、ビニール袋などに入れ雨や雪、夜露など水に濡れる恐れのある所、直射日光を避け、子供の手の届かない所で保管してください。

故障かな?と思ったとき



仕 様	形 式	MG-CT20
	使用推奨電池	単一乾アルカリ乾電池×2本
	主 材 料	ABS樹脂・ポリプロピレン・ポリエチレン
	直 径	80mm(φ)R 8037 (消費電力量による)
	ポンプ駆動方式	ダイレクトドライブ方式
	電子回路素子	トランジスタ
	セン サ ー	赤外線フォトブレー
使用温度	-5℃～+45℃	
使用液体	灯油(L51等灯油)	

お客様がこの「取扱説明書」に記載されている内容をお守りにならずに誤った操作及び故障、その他の不具合について、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。